別紙１－２（定期随時）

＜ 介護・医療連携推進会議における評価_様式例 ＞　※公表用

【事業所概要】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 法人名 | 株式会社　創生事業団 | 事業所名 | ｸﾞｯﾄﾞﾀｲﾑｻﾎﾟｰﾄ・長岡 |
| 所在地 | （〒　940　－　0012　）<br>新潟県長岡市下々条 2-1373-1 | | |

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

その人、その人に合ったサービスの提供を行い、安心した生活が送れるよう支援している。

【自己評価の実施概要】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所自己評価<br>実施日 | 西暦　2025　年　11　月　30　日 | 従業者等自己評価<br>実施人数 | （　7　）人　※管理者を含む |

【運営推進会議における評価の実施概要】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 実施日 | 西暦　2026　年　2　月　19　日 | 出席人数（合計） | （　8　）人　※自事業所職員を含む |
| 出席者（内訳） | □自事業所職員（　2　人）　□市町村職員（　1　人）　□地域包括支援センター職員（　1　人）　□地域住民の代表者（　　人）<br>□利用者（　　人）　□利用者の家族（　1　人）　□知見を有する者（　　人）　□その他（　3　人） | | |

■ 前回の改善計画の進捗評価

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>前回の改善計画</th><th>実施した具体的な取組</th><th>進捗評価</th></tr>
<tr><td colspan="2">Ⅰ．事業運営の評価<br>（評価項目 1～10）</td><td>研修に参加する機会を増やし個々のレベルを上げていく。</td><td>毎月のﾐｰﾃｨﾝｸﾞ時に参考資料を配布し自己啓発的に学習してもらった。</td><td>・研修後のレポート提出による各自の振り返り時間の創出、意見を出すことによる意識の向上。<br>(進捗率は 6 割くらい。振り返り時間は創出出来ているが、積極的な意見は まだ不足していると思う)<br>・災害時対応、感染症発生時の対応の迅速な行動の確認。<br>(進捗率は 7 割くらい。災害時対応は出来ていると思うが感染症発生時の迅速な対応に物足りなさがあると感じる)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Ⅱ.サービス提供等の評価</td><td>1.利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～21）</td><td>それぞれの利用者様に合ったサービスとは何かを常に心がけ、気兼ねなく要望等が言えるような気配りも身につける。</td><td>利用者さまのﾌｪｲｽｼｰﾄ他を再度確認し、それぞれの性格、個性に合ったサービスを提供できるよう心掛けた。</td><td>・利用者の状態の把握と個人個人に合ったサービスの提供。<br>(進捗率は 8 割くらい。状態の把握とサービスの提供は今後も継続し精度を上げていきたい)<br>・連絡ﾉｰﾄの活用と その情報共有について。<br>（進捗率は 9 割くらい。ﾉｰﾄ活用と情報共有は概ね出来ていると思う）</td></tr>
<tr><td>2．多機関・多職種との連携（評価項目 22～27）</td><td>医療機関の Dr やスタッフ、また訪問看護との情報共有を怠らず、密に行っていく。</td><td>「情報のキャッチボール」が一方通行にならないよう心掛けた。</td><td>・状態変化などの情報共有を迅速に行える体制の構築。<br>(進捗率は 6 割くらい。伝わるのに時間かかる)<br>・訪看、DS 職員への積極的な声掛けによる情報共有。<br>(進捗率は 8 割くらい。先方からの声掛けもある)</td></tr>
<tr><td>3．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 28～32）</td><td>ポスティングなど有効な手段を使い周囲からの認知度を高める為、広報活動も行っていく</td><td>広報活動に関しては、現状 具体的な方策が無く、まだまだ足りていないことが多い。早急に対策したい。</td><td>・職員が地域を知り、地域と関わりを持てるよう意識し、行動する。<br>(進捗率は 4 割くらい。職員と地域の関わり方を今一度考える必要があるかもしれない)</td></tr>
</table>

| | | | |
|---|---|---|---|
| Ⅲ. 結果評価<br>（評価項目 33～34） | 利用者様の生きがいやハリのある生活を送れるような計画を立てる。 | まだ不十分なところはあるが、出来るところは担当ｹｱﾏﾈと相談しながら計画を作成した。 | ・職員の「目標の理解」、達成を意識しケアの質の向上を心掛ける。<br>(進捗率は 8 割くらい。ケアの質の向上は常に心掛けている。) |

**※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します**

## ■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

| 項目 | | 評価結果 | 改善計画 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ．事業運営の評価<br>（評価項目 1～10） | | 各項目において・できている・ほぼできている が多いものの、研修、人材育成の部分において足りていない部分がある。 | ・研修後のﾚﾎﾟｰﾄ提出により意見を出し合い 意識の向上に繋がった。<br>(上記を受けて意識の向上を更なる高みに引き上げる為、研修後は個別に意見を聞き取ってから集約。後 周知していくことでベクトルを合わせていく改善計画とする) |
| Ⅱ．サービス提供等の評価 | 1．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供<br>（評価項目 11～21） | 「14」においての未来志向型計画の作成…は、難しい部分もあるが改善できる可能性もあると思う。 | ・利用者さまの状態の把握から見直しを行うことで適宜 サービスを提供する事ができた。<br>・連絡帳の有効な活用により職員間の情報共有に役立った。<br>(上記を受けて、連絡帳の有効活用を継続し、利用者さまの個々に合ったきめ細やかなｻｰﾋﾞｽを提供していくことを改善計画とする) |

| | | |
|---|---|---|
| ２．多機関・多職種との連携（評価項目 22〜27） | 多職種との連携はおおむねできていると思う。 | ・多職種との情報共有が出き来ていた反面、連絡すること自体にﾀｲﾑﾛｽが生じることがあり改善が必要。<br>(上記を受けて、多職種との情報共有を更に緊密にしていき、情報伝達が滞らないようにすことに留意することを改善計画とする) |
| ３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 28〜32） | 近隣地域への周知、情報の発信は まだまだ足りていない部分かと思います。 | ・近隣地域への PR 不足。<br>・運営推進会議で頂いた意見に、「地域で必要なｻｰﾋﾞｽであること」があり職員で再認識した<br>(上記を受けて、近隣地域への PR を積極的に展開していく事を改善計画とする)<br>※概ね R9 年 3 月までに。 |
| Ⅲ．結果評価（評価項目 33〜34） | サービスの提供以降、利用者さまにおいては概ね喜んでいただいていると思う。 | ・職員ひとりひとりの目標の理解。また、達成に向けた意識づけとケアの質の向上に努力<br>(上記を受けて職員個々の目標の明示し、更なるｹｱの向上に向けていくことを改善計画とする) |

**※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します**